

## わが家の防災マップを作しましょう

自宅周辺の危険な道路や老朽化した看板等、町歩きをして確認したことを地図に書いておきましょう。



- 1 家族で決めた避難場所の位置を確認しましょう。
- 2 自宅と避難場所が入る範囲の地図（道路や河川、線路等）を書きましょう。
- 3 避難場所や家族の集場所等を書きましょう。
- 4 地震や大雨のときに危険になりそうな箇所（水路や橋、ブロック塀等）を書きましょう。
- 5 避難ルートを書きましょう。通行できない場合に備えて複数のルートを検討しておきましょう。

忠岡町総合防災マップ P13-26 参照

### わが家の避難場所

洪水時  
高潮時  
地震・津波時

### わが家の集場所

洪水時  
高潮時  
地震・津波時

### 災害用伝言サービス

地震や洪水等の大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

#### 災害用伝言ダイヤル 171

スマートフォン・携帯電話等から、固定電話番号や携帯電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認が行えます。

**171** をダイヤル ▶ 録音するときは **1** をダイヤル ▶ 被災地の方も、被災地以外の方も ▶ **伝言を入れる**  
 ▶ 再生するときは **2** をダイヤル ▶ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする ▶ **伝言を聞く**

#### 災害用伝言板 (web171) <https://www.web171.jp/>

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板 (web171) にアクセスすることで、テキストによる安否情報（伝言）の登録・確認が行えます。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

発行 忠岡町 町長公室 危機管理課

〒595-0805 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号

TEL: 0725-22-1122

令和4年3月作成

忠岡町

# 総合 防災マップ



内水・洪水



高潮



地震



津波

### 大切に保管してください！

大雨による洪水や内水氾濫、台風の襲来による高潮、大地震の発生による津波等、皆さんがお住まいの地域でも浸水被害や建物被害が発生する危険性があります。

この総合防災マップは、皆さんが各種災害の危険性を把握し、災害時に適切な防災行動をとっていただくことを目的とし、作成したものです。



忠岡町  
イメージキャラクター  
「ただお課長」

# 目次

## はじめに

目次	1
はじめに	1
忠岡町で起こった過去の災害	1
防災・減災の基本	2
忠岡町で想定される災害	2

## 風水害編

内水・洪水	3
高潮	5

## 地震・津波編

地震	7
火災	9
津波	10

## ハザードマップ編

水害(内水・洪水・高潮・津波)ハザードマップについて	11
忠岡町 内水ハザードマップ(全域)	13
忠岡町 洪水ハザードマップ(全域) <small>計画規模</small>	15
忠岡町 洪水ハザードマップ(忠岡小学校区) <small>想定最大規模</small>	17
忠岡町 洪水ハザードマップ(東忠岡小学校区) <small>想定最大規模</small>	19
忠岡町 高潮ハザードマップ	21
忠岡町 地震ハザードマップ	23
忠岡町 津波ハザードマップ	25

## 避難施設

避難所・避難場所一覧表	27
-------------	----

## 日頃の備え

避難のタイミング(警戒レベル)を知りましょう	29
いろいろな情報収集の方法	30
避難行動	31
あなたの避難行動判定フロー	32
マイ・タイムラインを作りましょう	33
日頃からの備えをしておきましょう	35
非常持出品・非常備蓄品を準備しておきましょう	36
地域での防災活動	37

## 災害支援

被災時の対応や相談窓口	38
-------------	----



忠岡町  
イメージキャラクター  
「ただお課長」

# はじめに

水防法の改正に伴い「想定最大規模の降雨を想定した洪水浸水想定区域図」「想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域図」が新たに指定・公表されたことや避難情報の変更を受け、「忠岡町防災ガイドマップ」を改訂し、「忠岡町総合防災マップ」を作成しました。

この総合防災マップは、忠岡町で暮らす皆さんに想定される災害を知っていただき、日頃からの対策を考え、もしものときに適切な判断と安全な避難行動がとれるよう支援するために作成したものです。

お住まいの地域にどのような災害が想定されるのか、また、災害から身を守るためにはどのような行動をとればよいのか、この冊子を使って事前に確認しておきましょう。

実際の災害時には状況に応じて避難情報等が出されますが、早め早めの対応を心がけて命を守ることを最優先に行動しましょう。

## 忠岡町で起こった過去の災害 (平成30年9月台風21号)



町民グラウンド



忠岡中学校



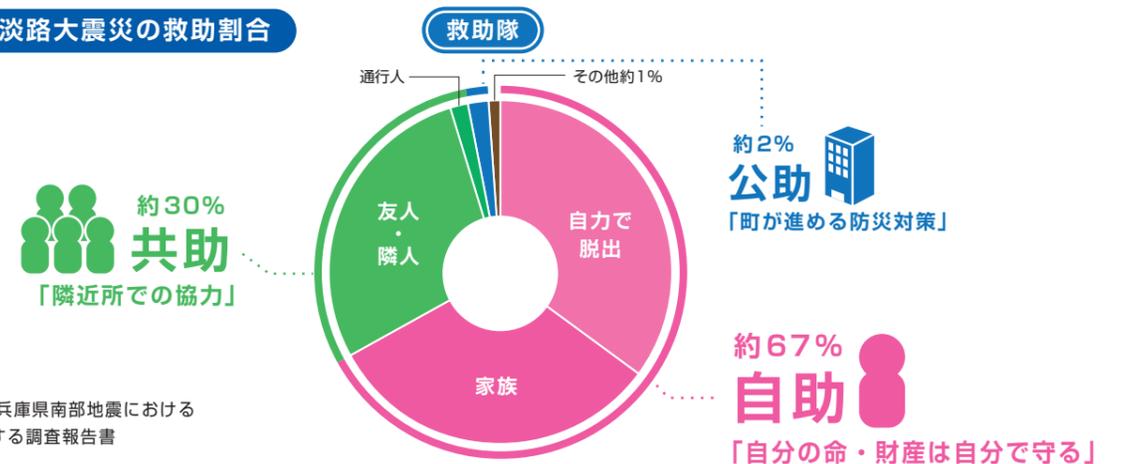
東忠岡小学校

# 防災・減災の基本

災害の規模が大きくなればなるほど、公的支援が届くまでには時間がかかります。自分たちの命を守るため、支援が届くまでの間に重要なのが、「地域の助け合い」です。高齢者や障がいのある人は特に手助けが必要となります。阪神・淡路大震災では、生き埋めや閉じ込められた際に救助された人の約97%が、自力や家族、友人・隣人による救助でした。

普段から地域で声をかけあって行動することで、安全で安心な避難ができます。自助を養い、共助を確立し、公助と連携することで、かけがえのない「命」を災害から守りましょう。

## 阪神・淡路大震災の救助割合



出典  
1995年兵庫県南部地震における  
火災に関する調査報告書

# 忠岡町で想定される災害

## 内水氾濫



局地的大雨、集中豪雨等により、河川の水位が上昇し、下水道や水路からの排水ができなくなることで発生するおそれがあります。

## 洪水



台風による大雨や局地的大雨、集中豪雨等により、河川が氾濫するおそれがあります。

## 高潮



台風等の強い低気圧により、海沿いの地域では高潮による被害が発生するおそれがあります。

## 地震 (揺れによる建物の倒壊等)



上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震が発生すると、町全域で建物の倒壊等の大きな被害が発生するおそれがあります。

## 津波



南海トラフ巨大地震が発生した場合、海沿いの地域では津波による被害が発生するおそれがあります。

## 液状化

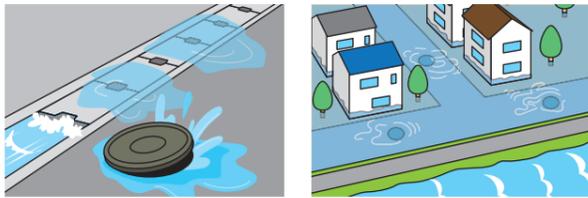


地震の揺れにより液状化が起こり、マンホールが浮き上がったり、建物の倒壊や道路の陥没が発生するおそれがあります。



内水氾濫と洪水

内水氾濫



大雨によって河川の水位が上昇することで下水道や水路からの排水ができなくなり、マンホールや側溝・水路等から水があふれる現象です。

洪水



大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより、水が流れ出す現象です。

大雨によって想定される被害

道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かない等、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊



河川沿いでは家屋が倒壊する可能性があり、命の危険性もあります。

このような区域にも注意

■家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋等の倒壊・流失をもたらすような、堤防決壊を伴う激しい氾濫流や河岸侵食の発生が想定される区域です。

氾濫流



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。

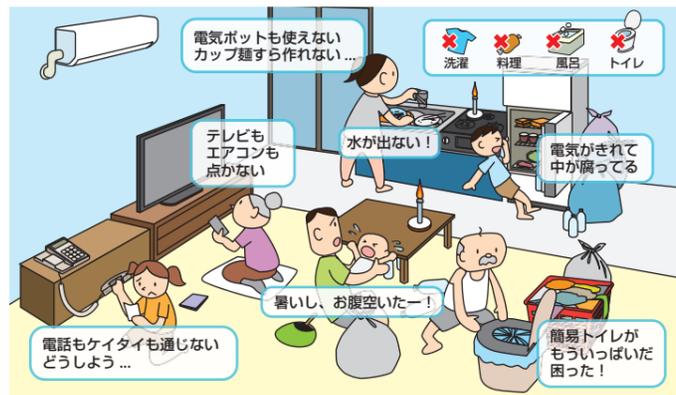
河岸侵食



地面から削られた家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

■浸水継続時間が長い区域

浸水継続時間とは、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間を示したものです。浸水継続時間が長い区域で立退き避難を行わなかった場合、ライフラインが絶たれ避難生活が困難になるおそれがあります。



河川の水位

大雨等で河川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊して洪水が発生します。内水氾濫に比べて甚大な被害が広域に及ぶ危険があり、大津川水系では、大阪府と気象庁が共同で河川の水位の変化に応じて洪水予報を発表しています。

■河川の水位の目安



雨の強さと降り方

予報用語 (1時間雨量)	やや強い雨 (10~20mm)	強い雨 (20~30mm)	激しい雨 (30~50mm)	非常に激しい雨 (50~80mm)	猛烈な雨 (80mm以上)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴゴゴと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響					
	■ 地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	■ 傘をさしていてもぬれる。		■ 傘は全く役に立たなくなる。	
屋内 (木造住宅を想定)	■ 雨の音で話し声が良く聞き取れない。		■ 寝ている人の半数くらいが雨に気が付く。		
屋外の様子	■ 地面一面に水たまりができる。		■ 道路が川のようになる。	■ 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
			■ 高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	■ 車の運転は危険。	
車に乗っていて	■ ワイパーを速くしても見づらい。				



高潮発生メカニズム

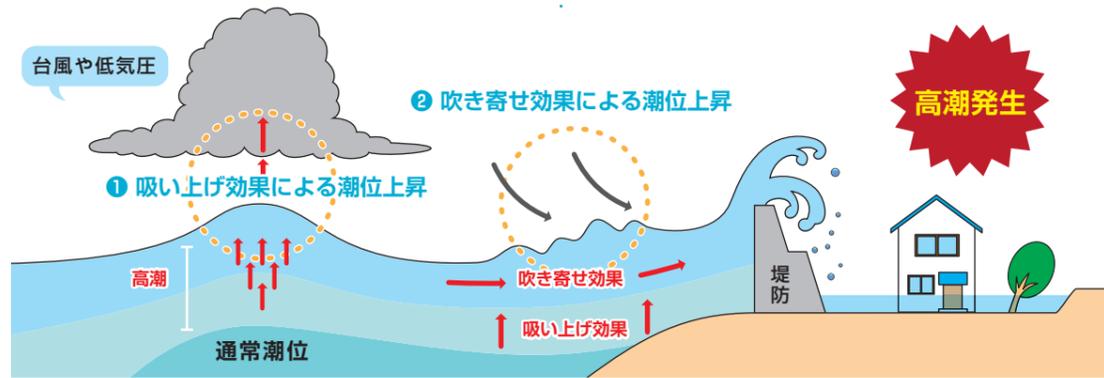
高潮は、「吸い上げ効果」や「吹き寄せ効果」という現象により、海水が堤防や防潮堤を越えたり、破壊して発生する浸水です。これらの現象が満潮時と重なると、より一層被害は大きくなります。

①「吸い上げ効果」とは

台風等低気圧が接近したときに、空気が海面を押さえつける力が弱くなり海面が持ち上げられることを吸い上げ効果といいます。

②「吹き寄せ効果」とは

海上から海岸に向かって風が吹き続けることにより、海面が高くなることを吹き寄せ効果といいます。(風が長く吹き続けるほど海面は高くなります)



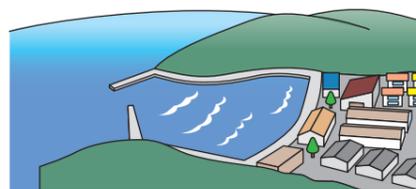
注意する場所

河川沿い



高潮は河川を遡上します。そのため、海から離れた場所でも河川を遡上してきた高潮により氾濫する可能性があります。台風襲来時には、大雨で河川の水位も増大しており、大変危険です。

港内



港内では波が反射を繰り返し、共振現象(波の山と山が重なる現象)を起こして波が大きくなる場合があります。

高潮警報・注意報の種類

警戒レベル	種類	内容
4相当	高潮特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧による異常な潮位上昇により特に異常で重大な災害が発生するおそれがあると予想される場合
4相当	高潮警報	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想される場合
3相当 または 2	高潮注意報	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生するおそれがあると予想される場合

台風

強風や大雨を伴った熱帯低気圧のことで、最大風速(10分間平均)がおおよそ17m/s以上で「台風」と呼ばれます。台風が接近したら、気象情報に注意して被害を最小限に食い止めましょう。

台風の大きさ

大きさ	風速15m/s以上の半径
大型:(大きい)	500km以上 800km未満
超大型:(非常に大きい)	800km以上

台風の強さ

強さ	最大風速
強い	33m/s以上 44m/s未満
非常に強い	44m/s以上 54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

風の強さと吹き方

予報用語 (平均風速)	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
	(10~15m/s未満)	(15~20m/s未満)	(20~25m/s未満)	(25~30m/s未満)	(30m/s以上)
人への影響	 ■ 風に向かって歩かなくなる。 ■ 傘がさせない。	 ■ 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。 ■ 高所での作業は極めて危険。	 ■ 何かにつかまっていなくて立っていられない。 ■ 飛来物によって負傷するおそれがある。	 ■ 屋外での行動は極めて危険。	
走行中の車	■ 道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	■ 高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	■ 通常で速度で運転するのが困難になる。		■ 走行中のトラックが横転する。
屋外・樹木の様子	■ 樹木全体が揺れ始める。 ■ 電線が揺れ始める。	■ 電線が鳴り始める。 ■ 看板やトタン板が外れ始める。	■ 細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。 ■ 看板が落下・飛散する。 ■ 道路標識が傾く。	■ 多くの樹木が倒れる。 ■ 電柱や街灯で倒れるものがある。 ■ ブロック壁で倒壊するものがある。	
建造物	■ 樋(とい)が揺れ始める。	■ 屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。 ■ 雨戸やシャッターが揺れる。	■ 屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。 ■ 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 ■ ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	■ 固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。 ■ 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	■ 外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 ■ 住家や倒壊するものがある。 ■ 鉄骨建造物で変形するものがある。



### 地震発生時の行動について

地震から身を守るポイントは、いつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考にどのような行動をとるべきか覚えておきましょう。

#### 海岸部では津波にも注意

南海トラフ巨大地震が発生すると、忠岡町では最大津波水位は**4.3m**、津波最短到着時間は**94分**と想定されています。テレビやラジオからの情報に注意し、落ち着いて避難行動を開始しましょう。

## 地震発生 身の安全を確保！

### 緊急地震速報！



まず低く



頭を守り



動かない

提供：効果的な防災訓練と防災啓発催進会議

#### 寝ていたら



布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

#### テレビを見ていたら



重い家具の近く、電灯の真下等から離れましょう。

#### 仕事・授業中なら



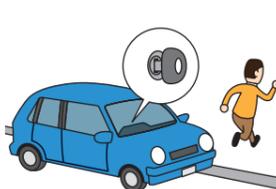
本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

#### 電車に乗っていたら



吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

#### 車の運転中なら



道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを差したまま避難しましょう。

#### 買い物中なら



買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

#### ビルの近くにいたら



ガラスの破片、看板等に注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

#### 住宅地を歩いていたら



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

#### エレベーターの中にいたら



すべての階のボタンを押し、動かないなら非常連絡ボタンを押しましょう。

### 地震の種類と特徴

地震は「内陸型地震」と「海溝型地震」の2種類に分けられます。忠岡町では、どちらの地震も発生する可能性があります。それぞれの地震の特徴を確認しましょう。

#### 特徴

- 被害範囲が比較的狭い
- ガタガタと短時間強く揺れる
- 日本のどこでも起こりうる

#### 起きる場所

- 活断層
- 町に大きな影響を及ぼす地震
- 上町断層帯地震 等

#### 内陸型地震

#### 特徴

- 被害範囲が広い・ゆっくり大きく長時間揺れる
- 数十年から数百年という期間で繰り返し発生する
- まれにとつともなく大きな規模で発生する
- 津波が発生することもある

#### 起きる場所

- プレートの境界
- 町に大きな影響を及ぼす地震
- 南海トラフ巨大地震

#### 海溝型地震

### 火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声をかけあい、お互いの安全確認！

#### 火の元の確認・初期消火



#### 靴を履く (ガラスの破片等から足を守ります)



#### 出口を確保



#### 余震に注意

「地震がおさまったからもう大丈夫！」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後は数ヶ月間、強い余震が起こることもありますので油断せずに行動しましょう。

### 正しい情報を得る

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

#### テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認！



#### テレビ・ラジオ

NHK等のデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

#### 防災行政無線・広報車

防災行政無線や広報車等で緊急情報をお知らせします。

#### 緊急速報メール

避難情報発令等緊急度の高い情報を、町内に存在する携帯電話に一斉送信します。

#### ただおかメール

避難情報や避難所開設情報等の防災関係情報を、「ただおかメール」として配信します。

メールアドレス [bousai.tadaoka-town@raidan2.ktaiwork.jp](mailto:bousai.tadaoka-town@raidan2.ktaiwork.jp)



### 状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険等があれば避難！

#### 隣近所の安否確認



#### 各自治会で安否確認を



#### 地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火



#### 非常持出品の用意を！ ガスの元栓・電気のブレーカーを切る！



# 火災



## 火災発生時の避難方法

大規模な地震は、ときに火災をも引き起こします。

人は火災に直面するとパニックに陥り、普段住み慣れている自宅であってもあわててしまうものです。火災時のパニックを軽減させるため、日頃から避難方法を考えておきましょう。



大声を出して知らせる。



勇気を出して初期消火を。



天井に火が燃え移ったらすぐに避難。



子どもや高齢者、病人を優先に。



服装や貴重品などにこだわらず、できるだけ早く避難する。



火の中は迷わず一気に走り抜ける。



煙の中は姿勢を低くし、濡れタオル等で鼻や口を覆い煙を避ける。



一度逃げ出したら、再び中へは戻らない。



逃げ遅れた人がいるときは、すぐに消防隊員に知らせる。

## 火災から家族と住まいを守る防火対策

火災が発生するのは大規模な地震のときだけではありません。

ご家庭でできる火災予防を日頃から実践しておきましょう。



調理中はコンロから目を離さない。離れる場合は必ず火を消す。



寝たばこ、たばこの投げ捨ては絶対に行わない。



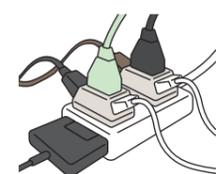
家の周辺に燃えやすいものを置かない。放火をさせない環境を作る。



子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない。



風の強いときは、たき火をしない。



たこ足配線はしない。電気器具は正しく使う。



ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

# 津波



地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。また、南海トラフ巨大地震発生後、忠岡町へは**94分**で津波の第一波が到達すると想定されています。強く長い揺れを感じたらすぐに津波の情報を確認し、**南海本線より東側（山側）へ避難**しましょう。

### ① 地震の揺れを感じたら津波に注意！



地震の揺れを感じたら、まず身の安全を確保しましょう。安全が確保されたら津波に関しての情報を確認しましょう。

### ② テレビ・ラジオや町の広報で正しい情報を！



テレビ・ラジオや携帯電話等を活用して、正確な情報を入手しましょう。

### ③ 避難情報が出たらすぐに避難！



防災無線や携帯メール、テレビ、ラジオ等で避難情報が出たら率先して避難しましょう。たとえ避難情報が出る前でも早めの自主避難を心がけてください。

### ④ 避難は徒歩で！



車での避難は、渋滞・混乱を引き起こすので、徒歩で避難しましょう。

### ⑤ 海岸や川には近づかない！



海岸に近づかないことはもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ近づかず避難しましょう。

### ⑥ 地域での協力が大切です！



避難の時にはご近所にも声をかけ合い、みんなでケガや病気の人等の手助けを行い、地域で協力し合う避難を心がけましょう。

### ⑦ 高齢者や身体の不自由な人等の避難に協力を！



避難する時に、高齢者や身体の不自由な人を見かけたら、地域で協力しましょう。また、長い距離を歩くのが難しい場合は緊急避難場所として近くの津波避難ビルへ避難しましょう。

### ⑧ 水がひいても安全が確認できるまで戻らない！



津波は第一波、第二波と何度も押し寄せてきます。津波注意報の解除等、安全が確認できるまで避難場所等に留まりましょう。

## 津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表（津波の高さ予想区分）	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超（10m<予想高さ）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビル等、安全な場所へ避難してください。
		10m（5m<予想高さ≤10m）		
		5m（3m<予想高さ≤5m）		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m（1m<予想高さ≤3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビル等、安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m（0.2m≤予想高さ≤1m）	—	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

# 水害（内水・洪水・高潮・津波）ハザードマップについて

## 水害のリスク（最大浸水深等）の見方について 内水 洪水 高潮 津波

ハザードマップには、内水・洪水・高潮・津波が発生した場合の最大の浸水深を表示しています。

### 浸水深の目安（内水）

	1.00m 以上
	0.60m 以上
	0.45m 以上
	0.30m 以上
	0.15m 以上
	0.05m 以上

### 浸水深の目安（洪水・高潮・津波）

	5.0m 以上 (2階の屋根以上が浸水する)
	3.0m～5.0m 未満 (2階の軒下までつかる程度)
	0.5m～3.0m 未満 (2階の床下までつかる程度)
	0.5m 未満 (1階床下浸水) (大人のひざまでつかる程度)

このマップで浸水するもどきが行かなくなり、  
このマップで浸水するもどきが行かなくなり、

内水・洪水・高潮・津波によって浸水のおそれがある区域です。各シミュレーション条件において予想される最大の浸水深を色別に示しています。浸水深が自宅の高さ以上、家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水継続時間が長い区域のいずれかに該当する場合は、**早期の立退き避難が必要な区域**です。

**家屋倒壊等氾濫想定区域**  
洪水（想定最大規模）のみ

家屋等の倒壊・流失をもたらすような、堤防決壊を伴う激しい氾濫流や河岸侵食の発生が想定される区域です。

**氾濫流**   氾濫流   河岸侵食

**氾濫流**

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。

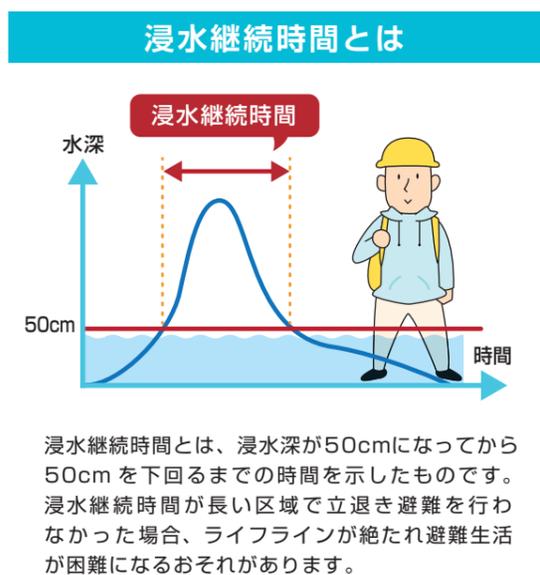
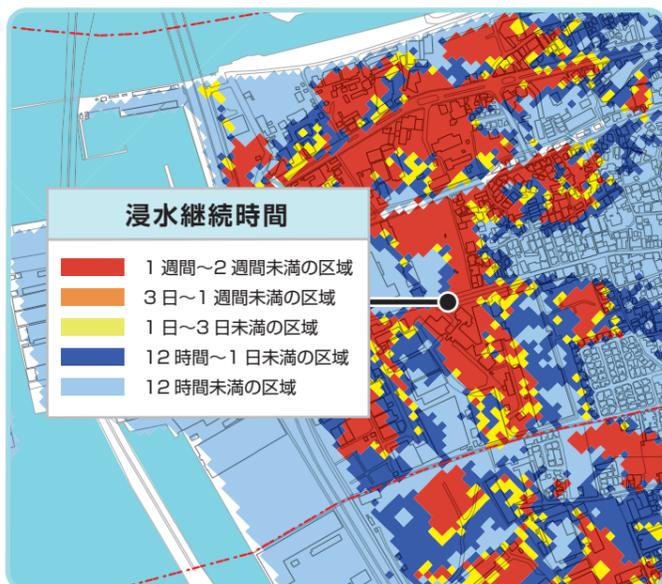
**河岸侵食**

地面から削られた家屋は建物ごと崩壊するおそれがあります。

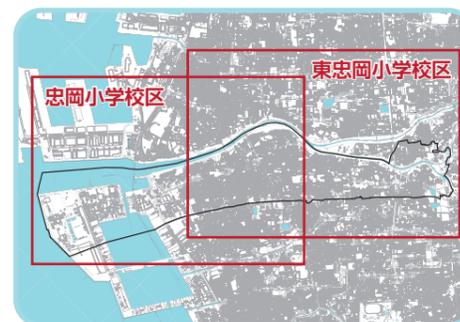


## 水害のリスク（浸水継続時間）の見方について 洪水（想定最大規模） 高潮

洪水（想定最大規模）・高潮については、「浸水継続時間」を表示しています。



## 索引・索引図



町全域	内水	P13-14
	洪水（計画規模）	P15-16
忠岡小学校区	洪水（想定最大規模）	P17-18
	高潮	P21-22
	津波	P25-26
東忠岡小学校区	洪水（想定最大規模）	P19-20

## 避難場所等の表示について

 <b>指定避難所</b>	災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設です。指定避難所は状況に応じて順次開設しますので、町の避難所開設状況をよくご確認ください。（洪水・高潮・津波・地震の災害種別ごとに指定してしています）
 <b>一時避難場所</b>	災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所です。（洪水・高潮・津波・地震の災害種別ごとに指定してしています）
 <b>津波避難ビル</b>	忠岡町では津波発生時の緊急避難場所として、所有者のご協力を得て、「津波避難ビル」の指定を行っています。時間的余裕がきわめて少なく、避難のための十分な時間を確保できない場合は、津波避難ビルに緊急的に一時避難することができます。

## 氾濫シミュレーション

### 内水氾濫のシミュレーション前提条件

▶ 既往最大降雨 60分降雨強度 74.0mm/hr

### 洪水のシミュレーション前提条件

▶ 想定最大規模とは… 想定される最大規模の降雨（1/1,000年程度の降雨）※  
大津川水系 大津川・榎尾川・東榎尾川・父鬼川・松尾川・牛滝川 24時間総雨量 875.0mm、1時間最大雨量 101.4mm

▶ 計画規模とは… 河川整備における基本となる降雨（1/100年の降雨）※  
大津川水系 大津川・榎尾川・東榎尾川・父鬼川・松尾川・牛滝川 24時間総雨量 345.0mm、1時間最大雨量 86.9mm

※〇年程度、または〇年の降雨とは、観測された雨量に基づいて設定された確率です。例えば、1/1,000年程度の降雨とは、1,000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1,000（0.1%）程度の降雨です。毎年の発生確率は小さいですが、規模の大きな降雨であることを示しています。1,000年の間にその規模に相当する降雨が複数回、または連続して発生することもあります。

### 高潮のシミュレーション前提条件

- 中心気圧：910hPa（室戸台風級を想定）
- 最大旋風風速半径（台風の中心から台風の周辺で風速が最大となる地点までの距離）：75km（伊勢湾台風級を想定）
- 移動速度：73km/h（伊勢湾台風級を想定、台風経路上で一定速度）

### 津波のシミュレーション前提条件

- 対象地震：内閣府ケース 3,4,5,10 重ね合わせ
- 堤防取扱い：越流時に破堤（堤防なしとする）
- 構造物条件組み合わせ（3条件の重ね合わせ）：

	防潮堤等	水門	陸閘
条件1		開放	閉鎖
条件2	地震時沈下量を考慮		閉鎖
条件3	地震時沈下量なし	開放	閉鎖

# 忠岡町 内水ハザードマップ(全域)

## 凡例

- 指定避難所
- 役場
- 交番
- 消防署
- 水位観測所
- 防災無線
- ヘリポート
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 線路(JR阪和線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 雨水ポンプ場

## シミュレーション条件

忠岡町で観測した既往最大降雨(平成16年5月13日)により、内水氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

※このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提を超える規模の降雨による氾濫、河川水位や潮位の影響、ゴミや落ち葉等による下水道施設の見詰まりについては想定していません。下水道施設の流下能力以上の雨水が溢れ、地表面を流れ、くぼ地に溜まる地表面氾濫解析を実施しています。浸水想定区域外においても浸水が発生する場合があります、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

## 指定の前提となる降雨

60分降雨強度74.0mm/hr

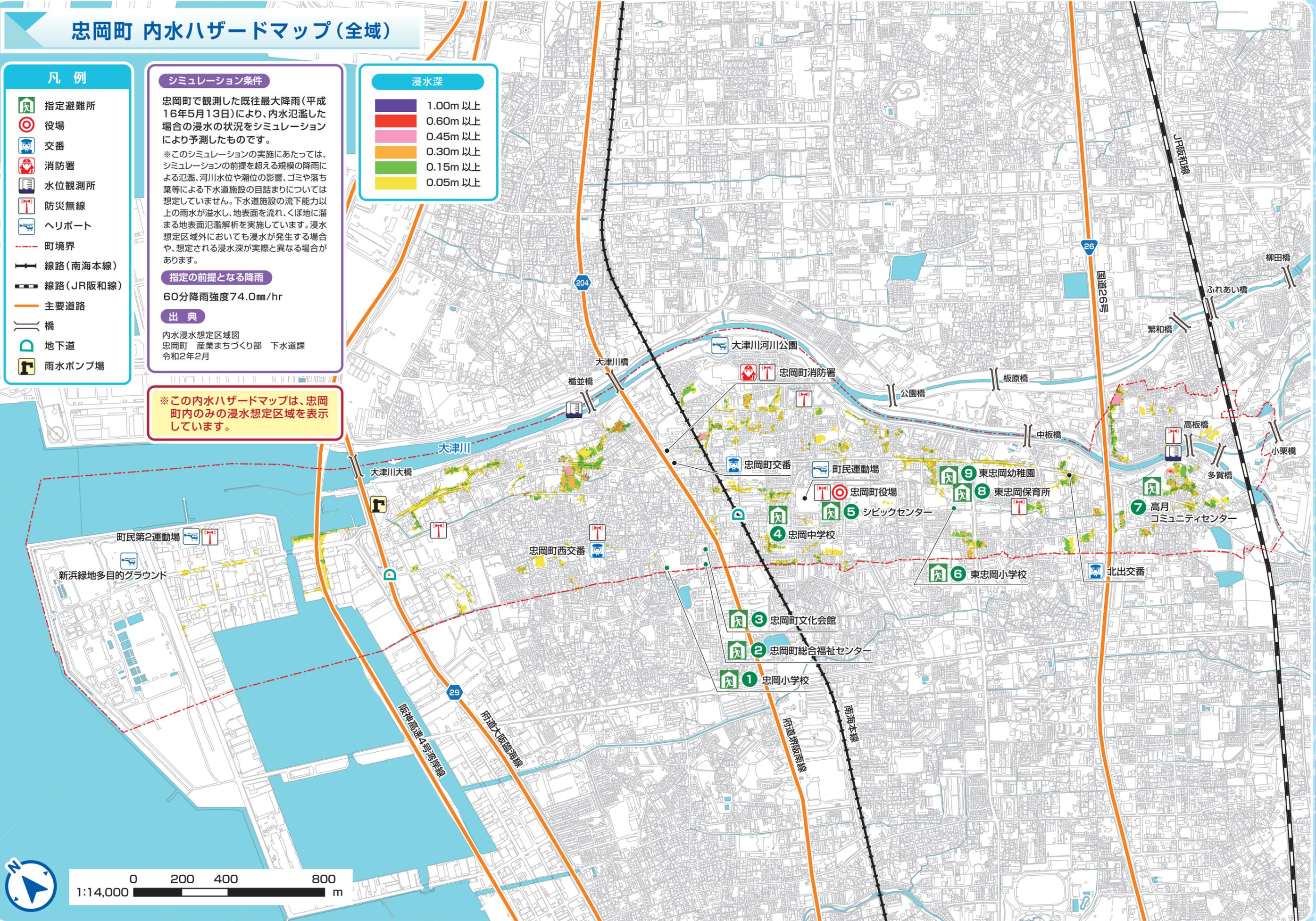
## 出典

内水浸水想定区域図  
忠岡町 産業まちづくり部 下水道課  
令和2年2月

※この内水ハザードマップは、忠岡町内のみの浸水想定区域を表示しています。

## 浸水深

- 1.00m以上
- 0.60m以上
- 0.45m以上
- 0.30m以上
- 0.15m以上
- 0.05m以上



風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

# 忠岡町 洪水ハザードマップ(全域)

計画規模  
(1/100年の降雨)

## 凡例

- 指定避難所
- 役場
- 交番
- 消防署
- 水位観測所
- 防災無線
- ヘリポート
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 線路(JR阪和線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 主な避難路

### シミュレーション条件

計画規模(年超過確率1/100)の降雨に伴う洪水により、大津川、横尾川、東横尾川、父鬼川、松尾川、牛滝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

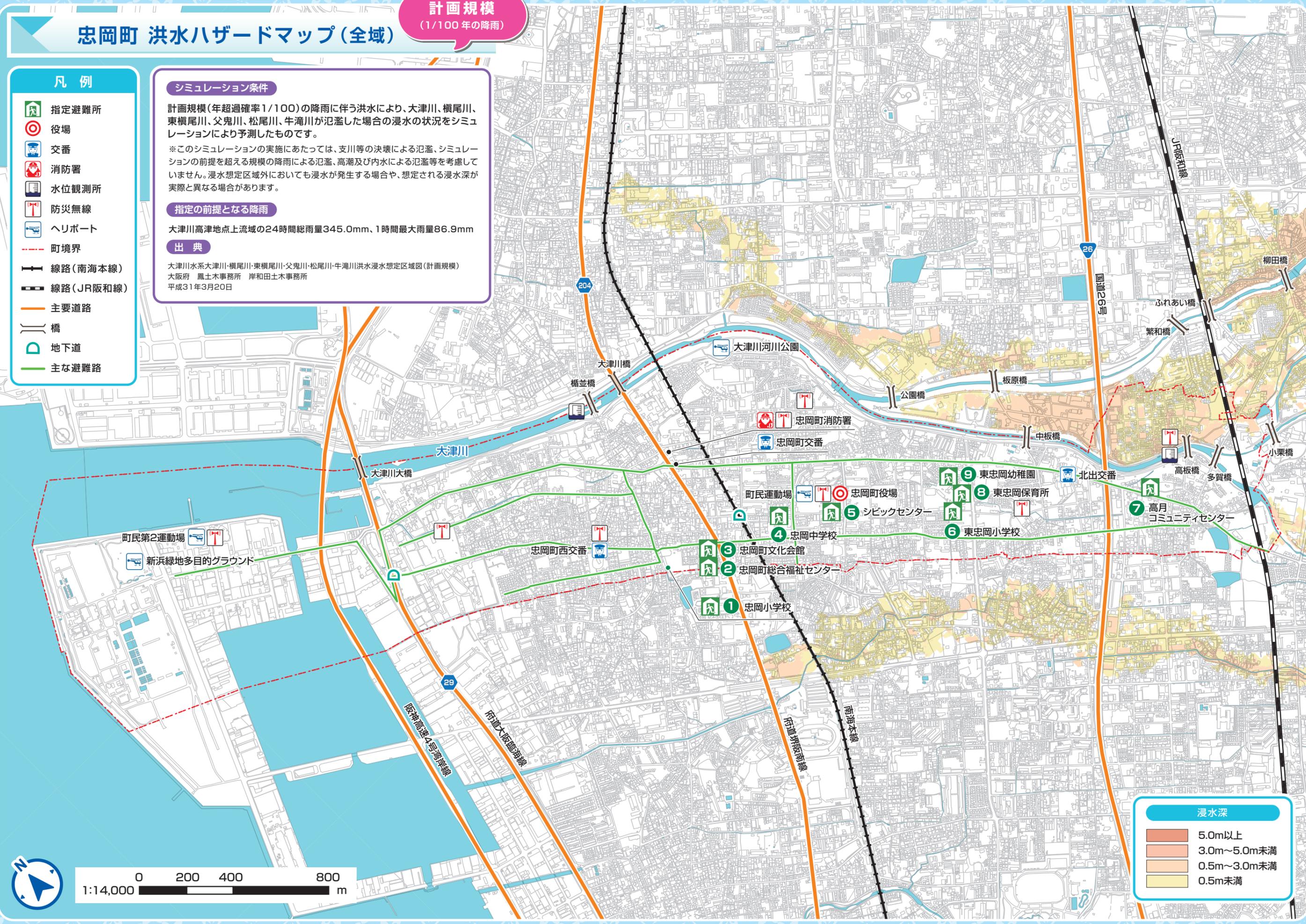
※このシミュレーションの実施にあたっては、支川等の決壊による氾濫、シミュレーションの前提を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

### 指定の前提となる降雨

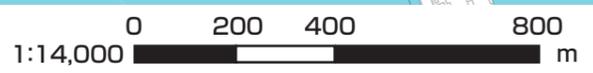
大津川高津地点上流域の24時間総雨量345.0mm、1時間最大雨量86.9mm

### 出典

大津川水系大津川・横尾川・東横尾川・父鬼川・松尾川・牛滝川洪水浸水想定区域図(計画規模)  
大阪府 風土土木事務所 岸和田土木事務所  
平成31年3月20日



浸水深	
	5.0m以上
	3.0m~5.0m未満
	0.5m~3.0m未満
	0.5m未満



風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

# 忠岡町 洪水ハザードマップ(忠岡小学校区)

想定最大規模  
(1/1,000年程度の降雨)

## 凡例

- 指定避難所
- 交番
- 消防署
- 水位観測所
- 防災無線
- ヘリポート
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 主な避難路

## シミュレーション条件

想定最大規模降雨に伴う洪水により、大津川、横尾川、東横尾川、父鬼川、松尾川、牛滝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

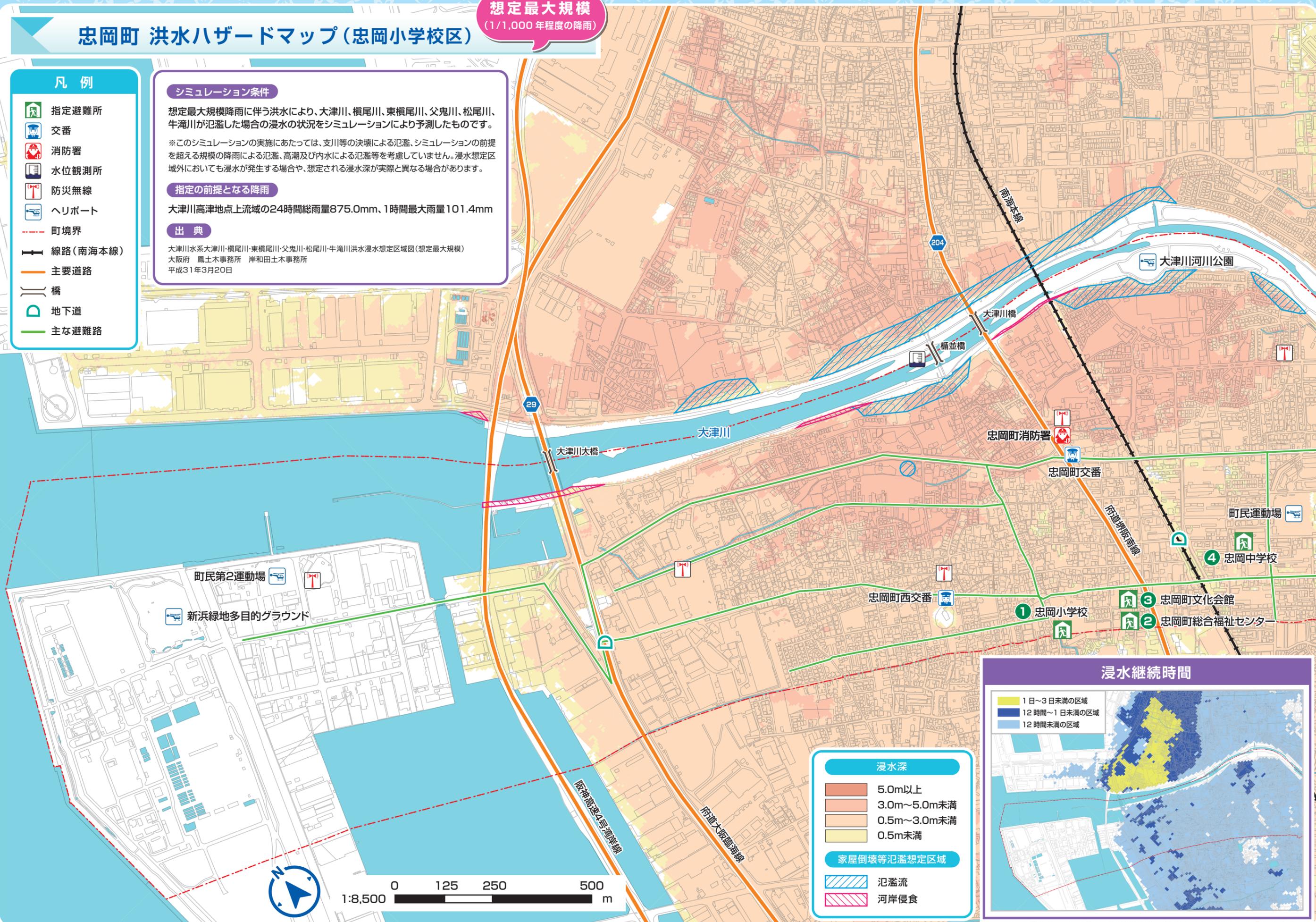
※このシミュレーションの実施にあたっては、支川等の決壊による氾濫、シミュレーションの前提を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

## 指定の前提となる降雨

大津川高津地点上流域の24時間総雨量875.0mm、1時間最大雨量101.4mm

## 出典

大津川水系大津川・横尾川・東横尾川・父鬼川・松尾川・牛滝川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)  
大阪府 風土木事務所 岸和田土木事務所  
平成31年3月20日

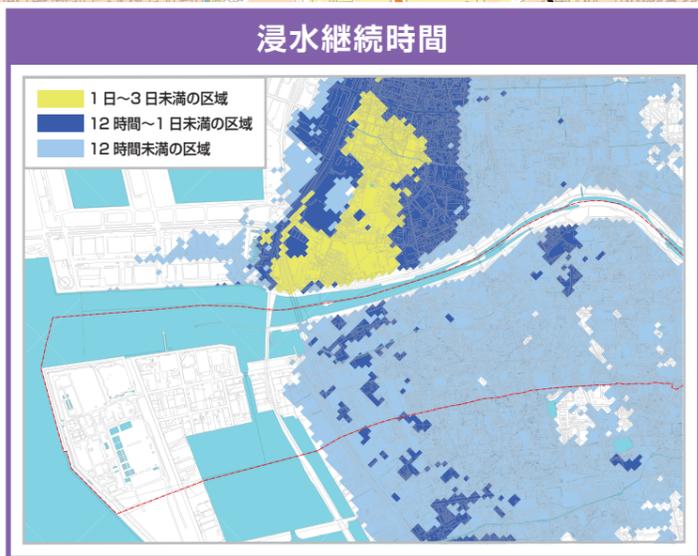


**浸水深**

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 氾濫流
- 河岸侵食



風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

# 忠岡町 洪水ハザードマップ(東忠岡小学校区)

想定最大規模  
(1/1,000年程度の降雨)

## 凡例

- 指定避難所
- 役場
- 交番
- 消防署
- 水位観測所
- 防災無線
- ヘリポート
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 線路(JR阪和線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 主な避難路

## シミュレーション条件

想定最大規模降雨に伴う洪水により、大津川、横尾川、東横尾川、父鬼川、松尾川、牛滝川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
※このシミュレーションの実施にあたっては、支川等の決壊による氾濫、シミュレーションの前提を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。

## 指定の前提となる降雨

大津川高津地点上流域の24時間総雨量875.0mm、1時間最大雨量101.4mm

## 出典

大津川水系大津川・横尾川・東横尾川・父鬼川・松尾川・牛滝川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)  
大阪府 鳳土木事務所 岸和田土木事務所  
平成31年3月20日

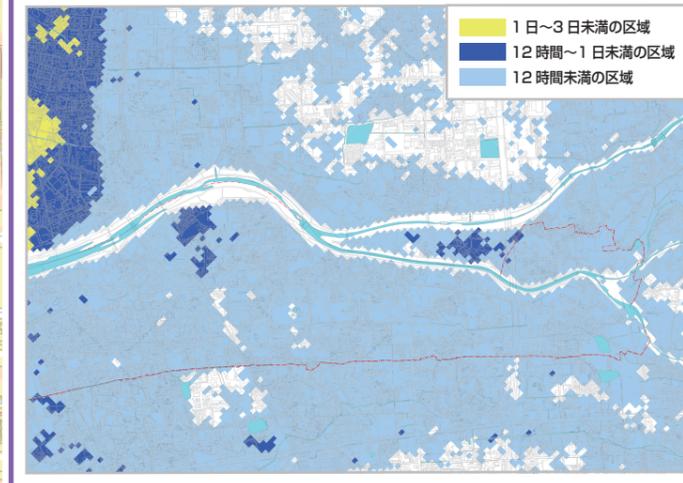
VR(バーチャルリアリティ)が体験できます!

河川が氾濫し、想定最大規模の最大浸水深に達することを想定した場合、どの位の高さまで浸水するのかを360°映像で体験できます。

忠岡町 浸水動画 検索

※「忠岡町 浸水動画」で検索していただくことも確認できます。

## 浸水継続時間

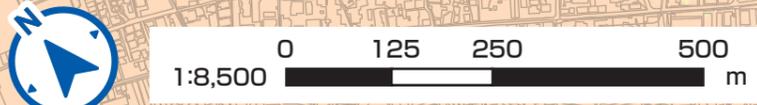


**浸水深**

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 氾濫流
- 河岸侵食



風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

# 忠岡町 高潮ハザードマップ

## 凡例

- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 交番
- 消防署
- 防災無線
- ヘリポート
- 防潮扉
- 水門
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 主な避難路
- 標高
- 防潮ライン

## シミュレーション条件

高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における想定最大規模の台風により、大阪湾沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)が最も大きくなる複数の経路を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。高潮浸水シミュレーションは、想定し得る最大規模の高潮を対象に実施していますが、それをさらに上回る規模の高潮の発生や、想定し得る最大規模の洪水との同時発生、地震による堤防への影響等を考慮していません。このため、実際の高潮時には、高潮浸水想定区域以外の場所においても浸水が発生する場合があります、浸水深が深くなる場合があります。

## 基本的な設定条件

- 我が国既往最大規模の台風を想定(室戸台風級:910hPa)
- 潮位偏差が最大となるような台風経路を設定
- 高潮と同時に河川での洪水(計画規模)を考慮
- 最悪の事態を考慮し、堤防等の決壊を見込む

## 出典

大阪府高潮浸水想定  
大阪港湾局  
令和2年8月5日

## 浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

## 高潮のCG映像が確認できます!

想定最大規模の台風による高潮のイメージ映像が確認できます。

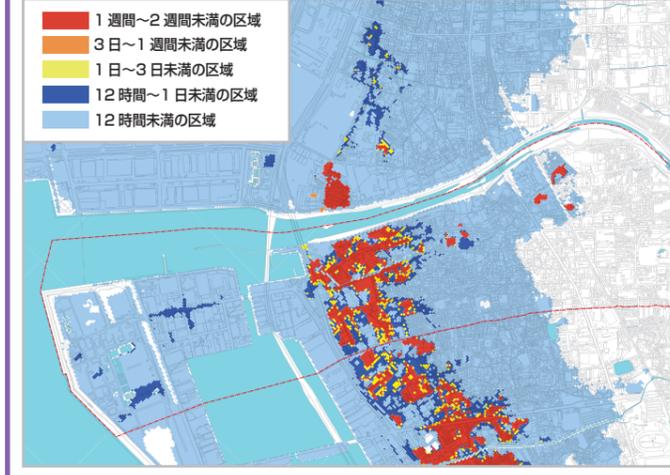


忠岡町 浸水動画 検索

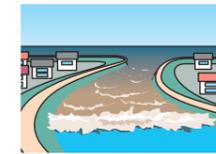
※「忠岡町 浸水動画」で検索していただくことも確認できます。

## 浸水継続時間

- 1週間~2週間未満の区域
- 3日~1週間未満の区域
- 1日~3日未満の区域
- 12時間~1日未満の区域
- 12時間未満の区域

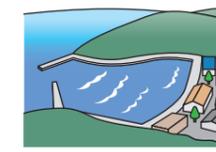


## 注意する場所



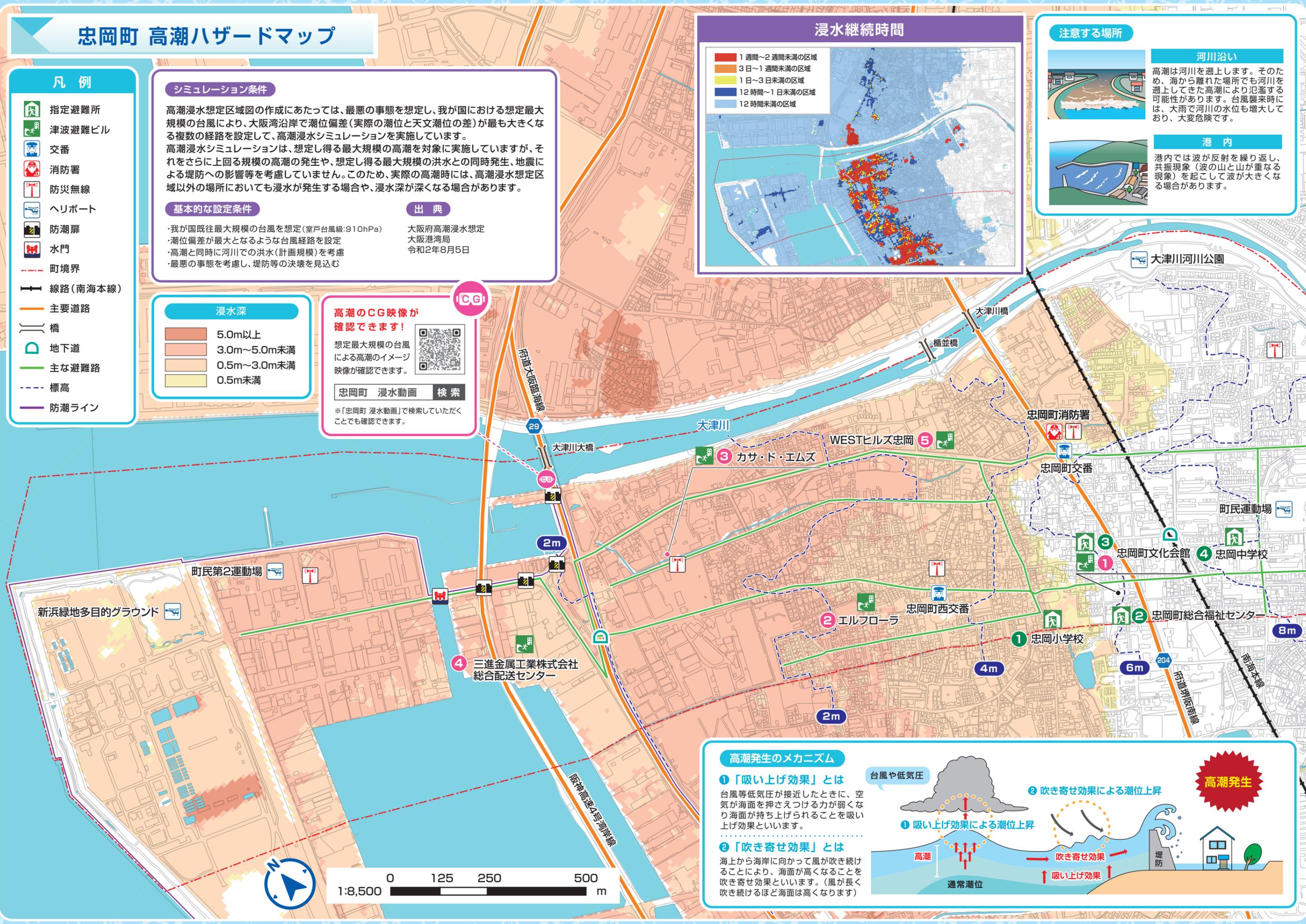
### 河川沿い

高潮は河川を遡上します。そのため、海から離れた場所でも河川を遡上してきた高潮により氾濫する可能性があります。台風襲来時には、大雨で河川の水位も増大しており、大変危険です。



### 港内

港内では波が反射を繰り返し、共振現象(波の山と山が重なる現象)を起して波が大きくなる場合があります。



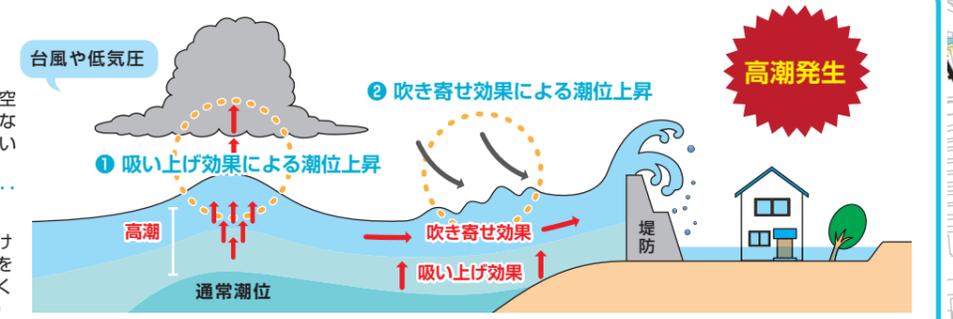
## 高潮発生メカニズム

### ①「吸い上げ効果」とは

台風等低気圧が接近したときに、空気が海面を押さえつける力が弱くなり海面が持ち上げられることを吸い上げ効果といいます。

### ②「吹き寄せ効果」とは

海上から海岸に向かって風が吹き続けることにより、海面が高くなることを吹き寄せ効果といいます。(風が長く吹き続けるほど海面は高くなります)



# 忠岡町 地震ハザードマップ

出典:大阪府自然災害総合防災対策検討(地震被害想定)報告書 大阪府 平成19年

凡例

- 指定避難所 (緑の建物アイコン)
- 一時避難場所 (緑の建物アイコン)
- 役場 (赤の建物アイコン)
- 交番 (青の建物アイコン)
- 消防署 (赤の建物アイコン)
- 防災無線 (赤の建物アイコン)
- 町境界 (赤い点線)
- 線路(南海本線) (黒い線)
- 線路(JR阪和線) (黒い線)
- 主要道路 (太い黒い線)
- 橋 (二重線)

風水害編

地震・津波編

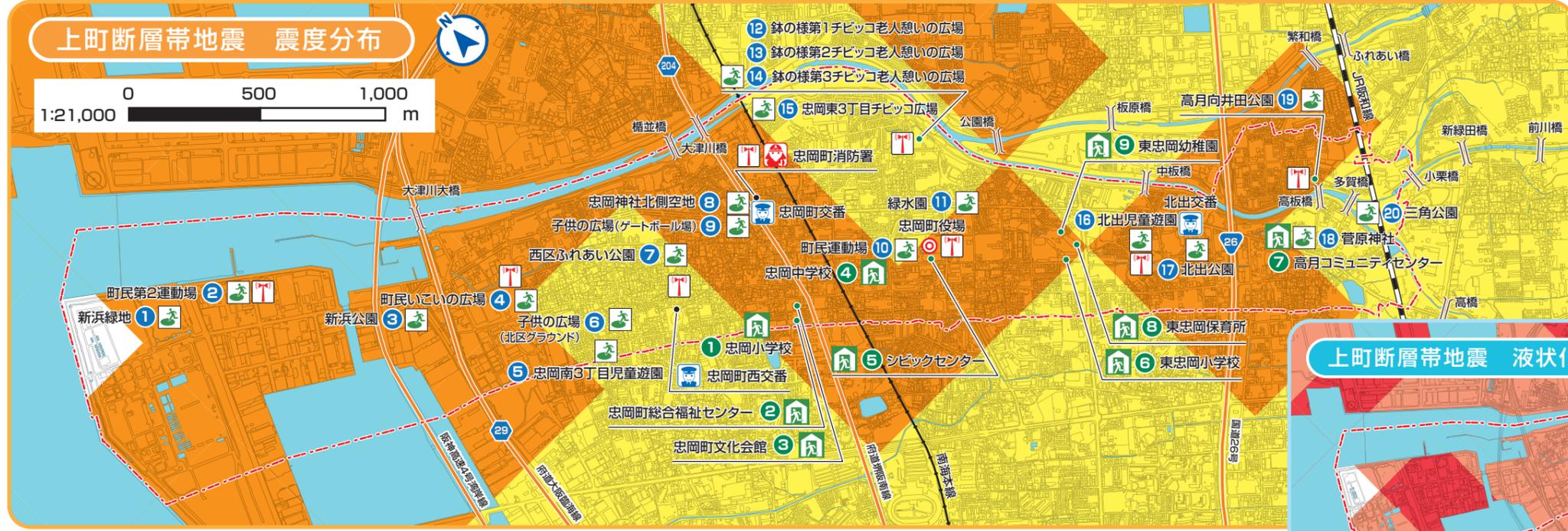
ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

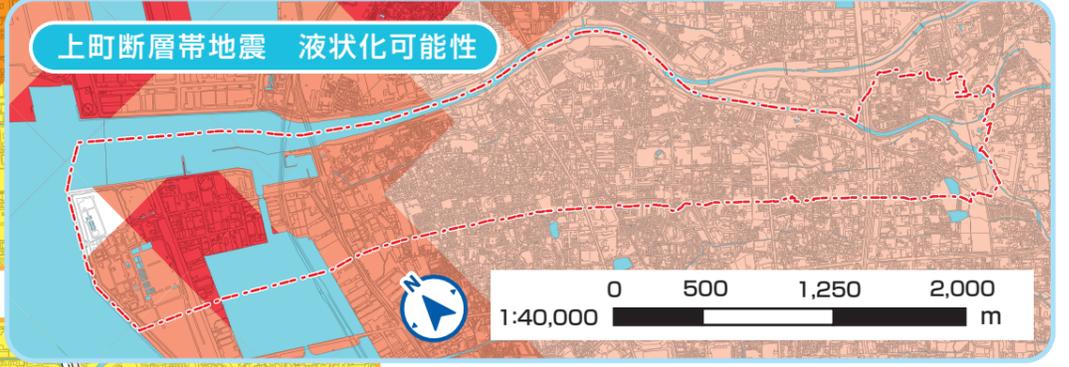
## 上町断層帯地震 震度分布



## 上町断層帯地震



## 上町断層帯地震 液状化可能性

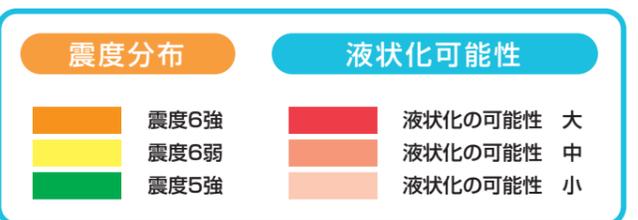


出典:南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会 大阪府 平成25年

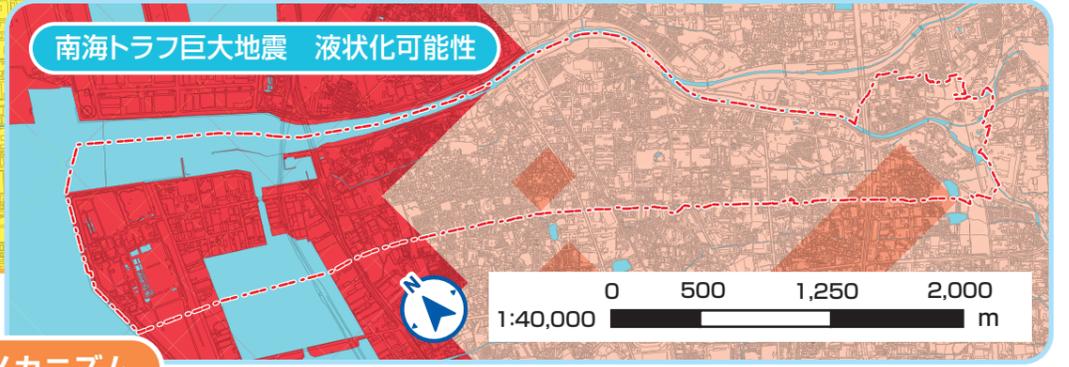
## 南海トラフ巨大地震 震度分布



## 南海トラフ巨大地震



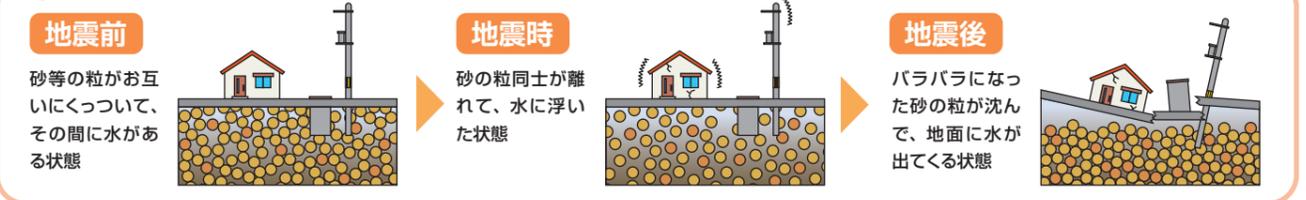
## 南海トラフ巨大地震 液状化可能性



### 震度とゆれの状況

<p><b>震度 5 強</b></p> <p>物につかまらな いと歩くことが 難しくなります。 補強されてい ないブロック 塀が崩れる ことがあります。</p>	<p><b>震度 6 弱</b></p> <p>立っている ことが困難に なります。耐 震性の低い 木造建物は、 瓦が落下し たり、建物 が傾いたり、 倒れるもの もあります。</p>	<p><b>震度 6 強</b></p> <p>はわないと 動くことが できず、飛 ばされるこ ともありま す。耐震性 の低い木造 建物は、傾 くものや、 倒れるもの が多くなり ます。</p>	<p><b>震度 7</b></p> <p>耐震性の低 い木造建物 は、傾くも のや、倒れ るものがさ らに多くな ります。耐 震性の高い 木造建物 でも、まれ に傾くこと があり、耐 震性の低い 鉄筋コン クリート造 の建物では 倒れるもの が多くなり ます。</p>
---	--	---	---

### 液状化発生メカニズム



風水害編

地震・津波編

ハザードマップ編

避難施設

日頃の備え

災害支援

# 忠岡町 津波ハザードマップ

## 凡例

- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 交番
- 消防署
- 防災無線
- ヘリポート
- 防潮扉
- 水門
- 町境界
- 線路(南海本線)
- 主要道路
- 橋
- 地下道
- 主な避難路
- 標高
- 防潮ライン

## シミュレーション条件

津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害の発生範囲を決定するものではありません。最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。

このため、実際の津波時には、津波浸水想定区域以外の場所においても浸水が発生する場合や、浸水深が深くなる場合があります。

## 基本的な設定条件

- ・対象地震：内閣府ケース3,4,5,10 重ね合わせ
- ・堤防取扱い：越流時に破堤（堤防なしとする）
- ・構造物条件組み合わせ（3条件の重ね合わせ）：

	防潮堤等	水門	陸閘
条件1		開放	開放
条件2	地震時沈下量を考慮	閉鎖	閉鎖
条件3	地震時沈下量なし	開放	閉鎖

## 出典

大阪府津波浸水想定  
大阪府  
平成25年8月20日

津波が来るまで

**94分**

南海本線より東側(山側)へ  
すぐ逃げる！

地震発生から94分以内に南海本線より東側(山側)に逃げることができない場合は、近くの津波避難ビル、もしくは鉄筋コンクリート造の建物の3階以上に一時的に避難しましょう。

## 浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

## 津波のCG映像が確認できます！

南海トラフ巨大地震による津波のイメージ映像が確認できます。



△体調のすぐれない人、過去に経験された人等は、ご注意ください。

**忠岡町 浸水動画 検索**

※「忠岡町 浸水動画」で検索していただくことも確認できます。

## 避難ビル・標高表示板

### 津波避難ビル

忠岡町では、津波発生時の緊急避難場所として、所有者のご協力を得て、「津波避難ビル」の指定を行っています。時間的余裕がきわめて少なく、避難のための十分な時間が確保できない場合は、津波避難ビルに一時避難することができます。忠岡町の指定している津波避難ビルは3階以上(R4.3)です。

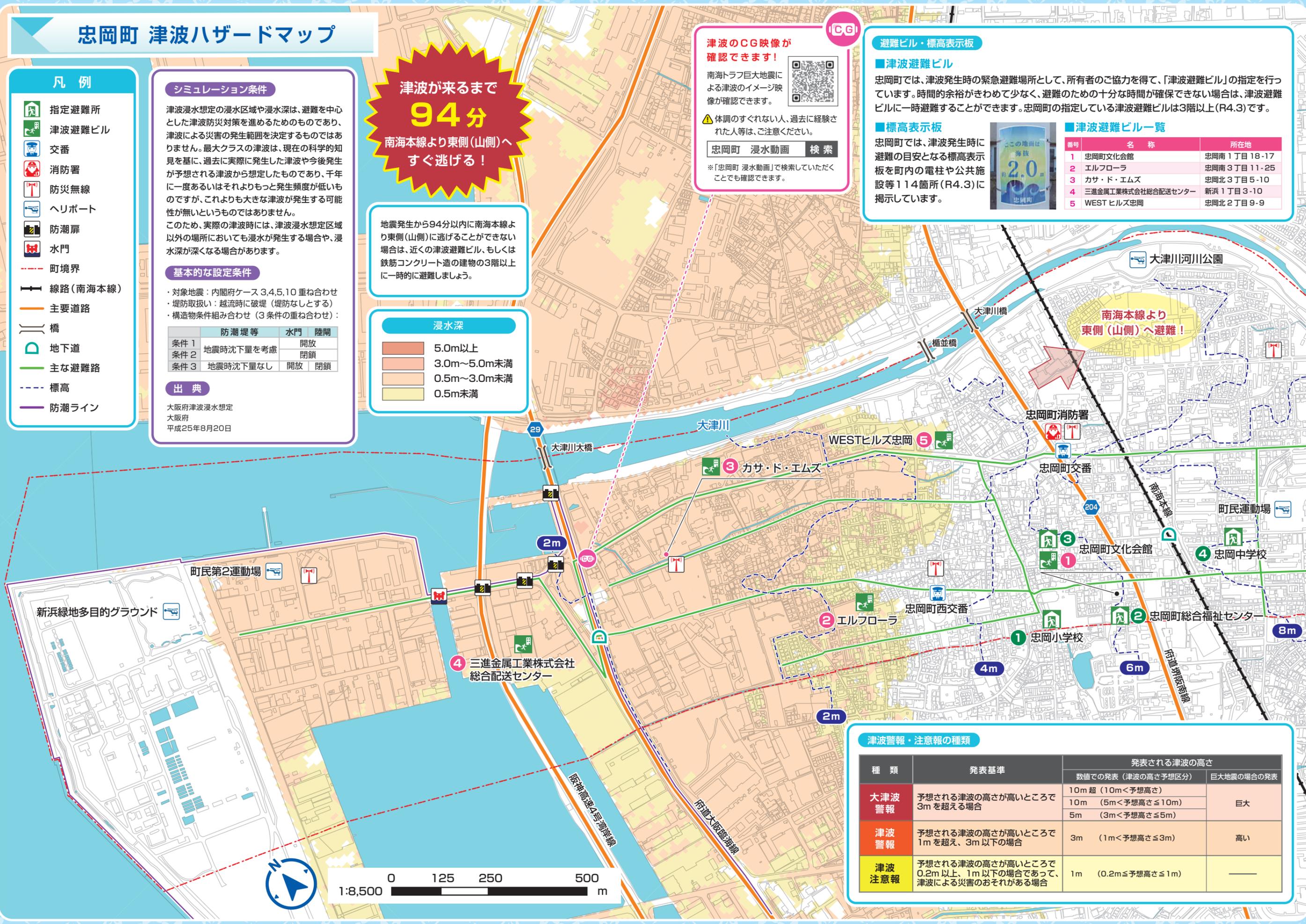
### 標高表示板

忠岡町では、津波発生時に避難の目安となる標高表示板を町内の電柱や公共施設等114箇所(R4.3)に掲示しています。



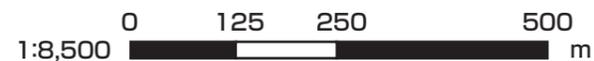
### 津波避難ビル一覧

番号	名称	所在地
1	忠岡町文化会館	忠岡南1丁目18-17
2	エルフローラ	忠岡南3丁目11-25
3	カサ・ド・エムズ	忠岡北3丁目5-10
4	三進金属工業株式会社総合配送センター	新浜1丁目3-10
5	WESTヒルズ忠岡	忠岡北2丁目9-9



## 津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ	
		数値での発表（津波の高さ予想区分）	巨大地震の場合の発表
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超（10m<予想高さ）	巨大
		10m（5m<予想高さ≤10m）	
		5m（3m<予想高さ≤5m）	
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m（1m<予想高さ≤3m）	高い
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m（0.2m≤予想高さ≤1m）	—



# 避難所・避難場所一覧表

## 指定避難所

指定避難所とは、災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設です。指定避難所は状況に応じて順次開設しますので、町の避難所開設情報をよくご確認ください。  
(洪水・高潮・津波・地震の災害種別ごとに指定してしています)



番号	名称	所在地	洪水(計画規模)	洪水(想定最大規模)	高潮	津波	地震
1	忠岡小学校	忠岡南1丁目12-30	○	△2F	△※	△※	○※
2	忠岡町総合福祉センター	忠岡南1丁目9-15	○	△2F	△※	△※	○※
3	忠岡町文化会館	忠岡南1丁目18-17	○	△2F	△※	△※	○※
4	忠岡中学校	忠岡東1丁目17-5	○	△2F	○	○	○※
5	シビックセンター	忠岡東1丁目34-1	○	△2F	○	○	○※
6	東忠岡小学校	馬瀬2丁目17-1	○	△2F	○	○	○※
7	高月コミュニティセンター	高月南3丁目3-5	○	△2F	○	○	○※
8	東忠岡保育所	馬瀬2丁目17-3	○	△2F	○	○	○※
9	東忠岡幼稚園	馬瀬2丁目17-2	○	△2F	○	○	○※

・高月北地区については、和泉市の和気小学校及び郷荘中学校を避難所として利用できます。(ただし、和泉市が避難所を開設した場合)  
 ・8,9の避難所は、1～7の避難所の開設のみでは、避難者を十分に収容できないときなどに開設する二次的な避難所です。  
 ・8,9の避難所は、令和5年4月より統合し、認定こども園として開園予定。(認定こども園建設工事期間中は使用不可)

## 一時避難場所

一時避難場所とは、災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所です。  
(洪水・高潮・津波・地震の災害種別ごとに指定してしています)



番号	名称	所在地	洪水(計画規模)	洪水(想定最大規模)	高潮	津波	地震
1	新浜緑地	新浜3丁目	○	○	×	×	○
2	町民第2運動場	新浜2丁目5-52	○	○	×	×	○
3	新浜公園	新浜1丁目2	○	○	×	×	○
4	町民いこいの広場	忠岡中3丁目7	○	×	×	×	○
5	忠岡南3丁目児童遊園	忠岡南3丁目15-84	○	×	×	×	○
6	子供の広場(北区グラウンド)	忠岡南3丁目11	○	×	×	×	○
7	西区ふれあい公園	忠岡中2丁目19	○	×	×	×	○
8	忠岡神社北側空地	忠岡中1丁目26	○	×	×	×	○
9	子供の広場(ゲートボール場)	忠岡中1丁目24	○	×	×	×	○
10	町民運動場	忠岡東1丁目34-27	○	×	○	○	○
11	緑水園	忠岡東2丁目1	○	×	○	○	○
12	鉢の様第1チビッコ老人憩いの広場	忠岡東3丁目2	○	×	○	○	○
13	鉢の様第2チビッコ老人憩いの広場	忠岡東3丁目19	○	×	○	○	○
14	鉢の様第3チビッコ老人憩いの広場	忠岡東3丁目2	○	×	○	○	○
15	忠岡東3丁目チビッコ広場	忠岡東3丁目10	○	×	○	○	○
16	北出児童遊園	北出2丁目9-38	○	×	○	○	○
17	北出公園	北出2丁目17	○	×	○	○	○
18	菅原神社	高月南3丁目4	○	×	○	○	○
19	高月向井田公園	高月北2丁目20	×	×	○	○	○
20	三角公園	高月南3丁目11	○	×	○	○	○

○ : 使用可能    × : 使用不可    △2F : 浸水想定区域内にある避難所であり、浸水の状況によっては2階以上の高い所へ避難  
 △※ : 高潮・津波発生時は、南海本線を越えて東忠岡小学校校区の浸水想定区域外への避難を原則とし、避難が遅れた場合などの緊急的な避難場所  
 ○※ : 地震発生後、施設の安全が確認でき次第、使用可能

## 協力施設

協力施設とは、状況や必要に応じて開設される民間の避難協力施設です。発災当初から利用することはできません。

番号	名称	所在地	洪水(計画規模)	洪水(想定最大規模)	高潮	津波	地震
1	ビーブル忠岡チャイルドスクール	忠岡中2丁目16-25	○	△2F	△※	△※	○※

## 津波避難ビル

忠岡町では津波発生時の緊急避難場所として、所有者のご協力を得て、「津波避難ビル」の指定を行っています。時間的余裕がきわめて少なく、避難のための十分な時間を確保できない場合は、津波避難ビルに緊急的に一時避難することができます。



番号	名称	所在地
1	忠岡町文化会館	忠岡南1丁目18-17
2	エルフローラ	忠岡南3丁目11-25
3	カサ・ド・エムズ	忠岡北3丁目5-10
4	三進金属工業株式会社総合配送センター	新浜1丁目3-10
5	WESTヒルズ忠岡	忠岡北2丁目9-9

## 福祉避難所

### 指定福祉避難所

指定福祉避難所とは、高齢者や障がいのある人、妊産婦など避難生活において特別な配慮を必要とする人及びその家族等を対象とした施設で、一般の指定避難所と同様に町が必要に応じて開設する避難所です。



番号	名称	所在地
1	シビックセンター(2階 保健センター)	忠岡東1丁目34-1

### 協定締結先福祉避難所

町は、町内福祉事業所と「災害時における福祉避難所の指定及び設置・運営に関する協定」を締結しており、要配慮者及びその家族等が一般の指定避難所や指定福祉避難所では避難生活が困難である場合、または、指定福祉避難所の定員を超過する場合等、必要に応じて福祉事業所の協力を得た上で開設される二次的避難施設です。発災当初から避難所として利用することはできません。

番号	名称	所在地
1	有限会社ほからか	忠岡東2丁目14-6
2	医療法人愛朗会おくだ医院	忠岡東1丁目21-27
3	有限会社あんずデイサービスセンター	馬瀬1丁目9-2
4	療養通所介護アネトス	忠岡東1丁目15-28
5	NPO デイサービスよりあい倶楽部忠岡	忠岡南1丁目3-19
6	デイサービスセンター健楽舎母屋	北出3丁目3-20
7	グループホームアムール忠岡	忠岡東2丁目15-38
8	グループホームアムール忠岡アネックス	忠岡中1丁目5-26
9	ビーブルハウス忠岡	高月北1丁目11-3
10	ビーブルライティングスクール泉北	高月北1丁目12-2
11	ビーブルケアハウスいすみ	高月北1丁目12-4
12	デイサービス花れん	馬瀬3丁目10-13
13	安藤外科・整形外科医院通所リハビリセンター	忠岡東1丁目39-29
14	リハビリデイサービスいすみ	忠岡中1丁目11-25
15	住宅型有料老人ホーム丸福 tadaoka	馬瀬1丁目16-1

# 避難のタイミング（警戒レベル）を知りましょう

## 避難情報と警戒レベル

### 町から出される避難情報（警戒レベル）

- ① 避難とは「難」を「避ける」こと、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ① 危険な場所から警戒レベル3で【高齢者等は避難】、警戒レベル4で【全員避難※】です。  
※ 警戒レベル4【全員避難】は、高齢者等に限らず、全員が危険な場所から避難するタイミングです。



- ① 町が出す警戒レベル3または警戒レベル4（避難情報）で必ず避難しましょう。
- ① 気象庁等から出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

### 避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮 注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 （気象庁）

### 河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

警戒レベル相当	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 （土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	
1相当		

町長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績等も踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

# いろいろな情報収集の方法

## 防災情報の伝達方法と収集できる情報の例

情報源によって、入手できる情報が異なります。各情報源から、どの情報が入手できるか確認しておきましょう。



### 1 テレビ

データ放送リモコンのdボタンを押すとテレビ画面で情報を確認できます。

入手できる情報: 避難情報等, 気

### 2 ラジオ

コミュニティFM「FMいずみおつ(85.5MHz)」にて放送します。

入手できる情報: 避難情報等, 気

### 3 インターネット

総合防災マップ    
この総合防災マップをWeb上で閲覧できます。

わかまちハザードマップ    
各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

重なるハザードマップ    
洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ち等を地図や写真に自由に重ねて表示できます。

ため池ハザードマップ    
和泉市のため池ハザードマップをWeb上で閲覧できます。  
※和泉市のため池が決壊すると町域の一部が浸水する可能性があります。

おおさか防災ネット    
避難情報・避難所情報や交通機関の情報等が入手できます。

河川防災情報    
河川の水位に関する情報等が入手できます。

河川カメラ    
河川カメラが設置されたところで、現在の河川の状況を画像で確認できます。

キキクル    
洪水、浸水、土砂災害の危険度分布に関する情報を閲覧できます。

浸水動画    
洪水の浸水VR動画や高潮・津波のイメージ動画を確認することができます。

入手できる情報: 避難情報等, 気, 他

### 4 SNS

ただおかLINE  
LINEのトークやタイムラインも活用しながら各種情報を発信します。  
アカウント名: 忠岡町

入手できる情報: 避難情報等, 気, 他

### 5 メール

ただおかメール    
登録すると避難情報や避難所開設情報などの防災関係情報が自動的に配信されます。 ※事前に登録が必要  
メールアドレス: bousai.tadaoka-town@raidan2.ktaiwork.jp

エリアメール・緊急速報メール ※登録不要  
町内に滞在する人の携帯電話に地震、津波、避難情報等に関する情報が強制的に配信されます。

防災情報メール    
登録により防災情報・気象情報等がメール配信されます。

入手できる情報: 避難情報等, 気

### 6 よびかけ

防災行政無線の屋外スピーカー  
災害時の避難情報等の緊急情報をお知らせします。

自動応答サービス TEL:050-5212-5259  
放送内容の聞き直しができます。

入手できる情報: 避難情報等

# 避難行動

## 避難行動の種類

避難行動には、以下のような種類があります。状況に応じて、適切な避難行動をとりましょう。

避難とは「難」を「避ける」ことです。不特定多数の人が集まる避難所等では新型コロナウイルス感染症等の感染拡大のリスクが高まります。避難所に避難する以外の方法（分散避難）についても考えてみましょう。

### ■自宅に待機【屋内安全確保】

- 自宅が洪水・高潮の危険性が低い。
- 想定される浸水深よりも高い場所に避難できる。
- マンション等の上層階に住んでいる。

### ■自宅の外への避難【立退き避難】

以下の場所に住んでいる場合は、早期の立退き避難が必要です。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域内
- 想定される浸水深より低い場所
- 浸水継続時間が長い区域内

- 自宅が洪水・高潮の危険性が高い。
  - 避難できる親戚・知人宅等がある。
  - 親戚・知人宅等が洪水・高潮の危険性が低い。
- 親戚・知人宅等へ避難

- 自宅が洪水・高潮の危険性が高い。
  - 避難できる親戚・知人宅等がない。
- 避難所へ避難



### ■緊急安全確保※

少しでも高い場所や崖から離れた場所へ移動する。



逃げ遅れたら

※ 緊急安全確保は、災害が発生・切迫した段階での行動です。やむを得ず立退き避難ができず、避難し遅れた人等がとる次善の行動です。そのため、本行動を安全にとることができるとは限らず、また本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限りません。

## 避難をするときの心得

避難は「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則です。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。



歩きやすい「履き物」を履きましょう。長靴は、水が入ると重くなるのでやめましょう。



歩いて避難できる深さは、ひざ下程度といわれています。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



地面が見えにくくなり、マンホールや水路等に落ちてしまう危険性があります。棒を使い、足元に注意して歩きましょう。



夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。



子どもや高齢者の避難を手助けしましょう。（早めの避難が大切です）



車での避難は控え、徒歩で避難しましょう。車は浸水すると故障し、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。



地下道（アンダーパス）には、水が溜まっている危険性があります。違うルートを通りましょう。

# あなたの避難行動判定フロー

避難行動判定フローに従い、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

必ず取り組みましょう

### あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地にお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※立退き避難（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※ 浸水の危険があっても、  
① 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
② 浸水する深さよりも高いところにいる  
③ 浸水しても水がひくまで我慢ができる、水・食料等の備えが十分にある場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、町が指定している指定避難所に避難しましょう。

警戒レベル4 避難指示が出たら、安全な親戚・知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4 避難指示が出たら、町が指定している指定避難所に避難しましょう。

あなたがとるべき行動を知ったら

マイ・タイムラインを作りましょう



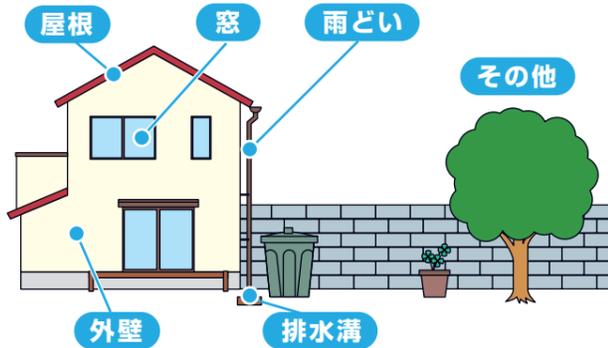
## 日頃からの備えをしておきましょう

### 風水害への備え

#### 家の周りを確認しましょう

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。

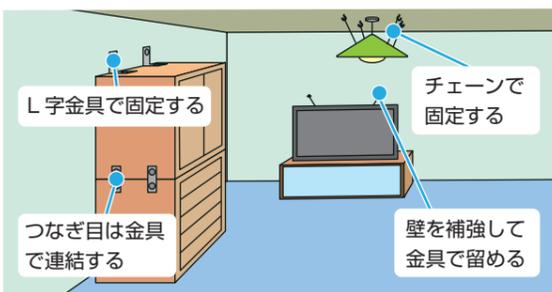
- 屋根の瓦のひび・割れ・はがれはないか
- 窓枠や雨戸にがたつきはないか
- 壁に亀裂はないか
- 雨どいに落ち葉等が詰まっていないか
- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか
- ごみ箱や植木鉢等は室内に入れるか  
飛ばされないように固定しているか



### 地震への備え

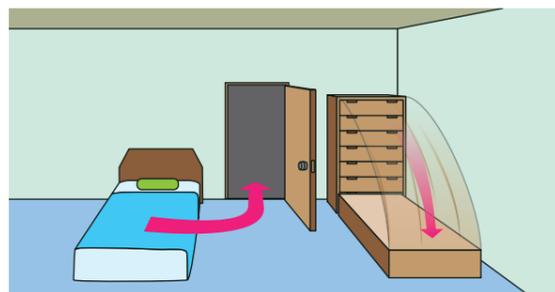
#### 家具の転倒防止・家具の配置に注意しましょう

##### 家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビ等を固定し、転倒や落下を防止する。

##### 家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。  
扉をふさぐような配置をしない。



ただお課長から一言！

### わが家の耐震診断

わが家は地震に対してどれくらい強いのか、耐震診断と耐震補強をしましょう。特に旧耐震基準（昭和56年5月31日以前）で建てられた建物は、地震に対しての強度を調べるのが重要です。忠岡町では耐震診断補助・木造住宅耐震改修補助を行っています。補助の対象は昭和56年5月31日以前に建築確認を受けて建築された住宅です。

お問合せ先：役場 建設課

## 非常持出品・非常備蓄品を準備しておきましょう

### 非常持出品

#### いざというときにあわてないように準備しておきましょう

##### 貴重品

- 身分証明書
- 健康保険証
- 印鑑  通帳
- 現金（小銭を含む）

##### 医薬品類

- 常備薬  マスク
- 消毒液
- おくすり手帳
- 体温計

##### 重さの目安



##### 小物道具類

- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池
- 携帯電話、充電器

##### 袋類

- ゴミ袋、レジ袋
- チャック付きビニール袋

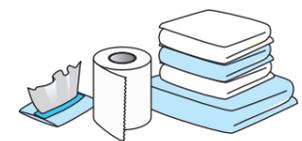
##### 水・食料等

- 飲料水
- 非常食



##### その他

- ティッシュ  ウェットティッシュ  タオル
- 軍手  雨具、防寒着  スリッパ  レジャーシート
- 下着・上着等の着替え  筆記用具  生理用品



### 非常備蓄品

- 缶詰
- インスタント食品
- アルファ化米
- 水
- 卓上コンロ、ガスボンベ



家族が最低3日間（推奨7日）は過ごせるように備蓄しましょう。

### 災害時の感染症対策について

#### ■非常持出品の確認

避難所生活の感染症対策として、できる限り備えておきましょう。

- マスク
- 手指消毒剤
- 除菌アルコールシート
- 体温計



#### ■避難所での過ごし方に注意しましょう

- 避難の際はマスクの着用
- 避難所に入る前に、検温、体調のチェック
- こまめな手洗い、咳エチケットの徹底
- 他の避難者との距離を十分にとる

## 地域での防災活動

### 自治会に加入しましょう

地震、台風等の災害時、地域での助け合いが大切になりますが、自治会はその核となる組織です。

日頃から自治会を通じてつながる近所づきあいの輪が、災害時に「頼れるつながり」になります。阪神・淡路大震災では、倒壊した建物から救出された人の8割は近所の人の協力で助け出されたと言われてしています。



### 地域での助け合い



#### 肢体の不自由な人には...

- 2人で抱える場合は、1人が背中側から両脇に手を入れて抱きかかえ、もう1人が両脚を持って移動しましょう。



#### 耳が不自由な人には...

- 口をハッキリと開け、相手に分かりやすいように話しましょう。
- 手話、筆談、身振り等の方法で正確な情報を伝えましょう。



#### 目の不自由な人には...

- 災害時には、声をかけ情報を伝えましょう。
- 誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩きましょう。



#### 外国人には...

- 身振りや手振りで話しかけ、孤立しないようにしましょう。

### 地域の防災力

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災等により十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。



#### Q 自主防災組織とは？

- 災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。
- 自分の身を自分の努力によって守る（自助）とともに普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら防災活動に組織的に取り組むこと（共助）が重要です。特に災害発生初期段階では、共助による活動（初期消火・救出・救護・避難誘導）が力を発揮します。その中心となるのが「自主防災組織」です。

#### Q なぜ、自主防災組織が必要なの？

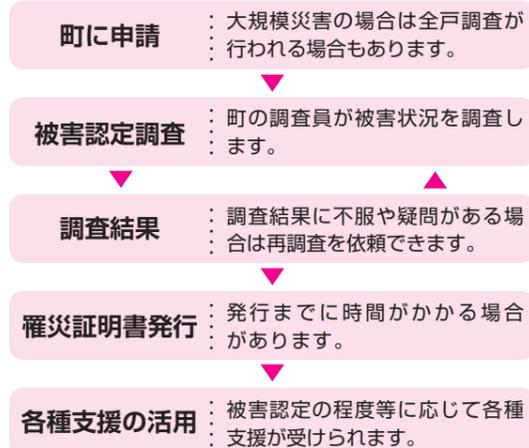
大規模な災害が発生した場合、消防署等の防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、地域の皆さんと一緒に協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図る事ができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。より効率よく、さまざまな活動をするためにも事前の準備（=体制づくり）が重要です。

## 被災時の対応や相談窓口

### 罹災証明書

水害や風害等で住宅が被害を受けた場合は、さまざまな公的支援が受けられます。その際、町が被害状況を調査した上で発行する「罹災証明書」が必要になります。個々に加入している火災保険や共済等の保険金を請求する際にも必要です。必ず町に申請しましょう。町の被害認定調査は、外観の目視のほか、浸水の深さ、土砂の堆積、家の傾き、家屋の部位ごとの損壊割合等、一定の基準のもとに行われます。

#### ■「罹災証明書」発行までの流れ



#### ■被害認定の区分

被害の程度	損害割合	被害の程度	損害割合
全壊	50%以上	半壊	20%以上 30%未満
大規模半壊	40%以上 50%未満	準半壊	10%以上 20%未満
中規模半壊	30%以上 40%未満	一部損壊 (準半壊に至らない)	10%未満

### 被災状況を写真で残しましょう **要注意**

広域に及び大規模災害の場合、町の罹災証明書の発行には時間がかかります。被害認定調査を受ける前に自力で片付けや修復作業を始めるときは、被災した状況を写真撮影する等、記録に残しておきましょう。正確な被害認定を受けられるように、なるべく多くさまざまな角度から、外観だけでなく室内も撮影しておきましょう。

### 災害にあったときの町の相談窓口

相談事項	担当課	相談事項	担当課
罹災証明（火災）	消防本部予防課 (TEL 31-0119)	国民健康保険料	
罹災証明（火災以外）	危機管理課	国民年金保険料	保険課
災害弔慰金		後期高齢者医療保険料	
災害見舞金	地域福祉課	税の猶予・減免	税務課
障害者医療費助成	高齢介護課	家庭ごみについて	生活環境課
介護保険		災害ごみについて	
保育所保育料	教育みらい課	動物・ペットについて	
児童扶養手当	健康こども課	下水道事業受益負担金の徴収猶予	下水道課
特別児童扶養手当			

※上記事項の申請に際して「罹災証明書」が必要な場合がありますので、各担当課にご確認ください。

### 加入している火災保険等を確認しましょう

風水害による被害に対して、個々に加入している火災保険等でも補償が受けられる場合があります。火災保険には自然災害に備えた水災補償、風災補償、落雷補償等があり、被害に応じて保険金が支払われるので、被災したら加入している保険会社に確認しましょう。

ただし、水災補償を外している等、契約内容によっては補償が受けられない場合があります。また、保険の対象を建物にするか家財にするか、建物と家財の両方にするかによっても補償内容が違ってきます。契約内容をもう一度見直して、過不足のない補償内容にしておきましょう。